

平成29年度 第5回市民参加及び協働推進委員会会議録

- 日 時 平成30年2月8日（木） 午後7時～午後8時30分
- 場 所 市役所2階 市長公室
- 出席者 委 員：朝賀委員、阿由葉委員、有賀委員、桑原委員、長ヶ原委員、
富田委員、根岸委員、吉岡委員、渡邊委員
事務局：古寺協働推進課長、石川協働推進課副課長、
赤田協働推進課主査
- 欠席者 委 員：金子委員
- 傍聴者 なし

内 容	
古寺課長	<p>1. 開 会 開会あいさつ</p>
委員長	<p>2. 委員長あいさつ あいさつ</p> <p>3. 議 題 (1) 協議事項 富士見市市民参加及び協働推進委員会条例第6条第1項の定めにより、阿由葉委員長が議長となり、議事を進行した。</p> <p>①富士見市協働事業提案制度 ・ 事業報告会、事後評価について</p> <p>資料1 富士見市協働事業提案制度事業評価要領 資料2 富士見市協働事業提案制度 協働事業報告 「すわの森環境保全事業」 資料3 協働事業評価シート 「すわの森環境保全事業」 資料4 富士見市協働事業提案制度 協働事業報告 「コスモス育成活動事業」 資料5 協働事業評価シート 「コスモス育成活動事業」</p>

	<p>資料6 富士見市採択協働事業補助金交付要綱 様式第7号「収支決算書」</p> <p>事務局 協働事業提案制度では、完了した事業について、市で評価を行うことが定められており、「富士見市協働事業提案制度事業評価要領」に基づき実施する。評価にあたり、推進委員会より意見を提出してもらうため、事業報告会を開催し、事業概要及び成果等について実施団体と市の担当課から報告を求める。</p> <p><事業報告会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 平成30年5月17日（木）午後7時～ ・報告事業（平成28年度採択・平成29年度実施協働事業） <ul style="list-style-type: none"> 市民提案型協働事業 ムジカベベ0歳からの音楽会 「マタニティコンサート&産後ケア講座（仮）」 行政提案型協働事業 富士見市社会福祉協議会 「手話を知るための講演会」 「スポーツ交流を通して、障がいについて知ろう」 「あいサポート3周年イベント～知ろう！学ぼう！当事者から～」 <p>実施団体と市の担当課で作成してもらう、事業報告会用の事業報告書は、前年度実施時に提出を求めた「富士見市協働事業提案制度 協働事業報告」（資料2・資料4参照）に加え、富士見市採択協働事業補助金交付要綱様式第7号「収支決算書」（資料6）の2点を考えている。報告書類について協議いただきたい。</p>
委員	<p><質疑・意見></p> <p>報告様式では、事業の継続性や未来に向けての取組み等について、記述できるのか。</p>
事務局	<p>現状では単年度補助ということもあり、設けていない。</p>
議長	<p>委員に諮り、一同、事務局案で承認。</p>
事務局	<p>事業報告会終了後、評価要領に定められた「協働事業評価メモ」を各推進委員より提出していただく。提出された意見を事務局でまとめ、庁内委員会へ提出。庁内委員会にて採択協働事業の評価を資料3・資料5（前年度実施事業の評価シート）のようにまとめ、市長へ報告し、市ホームページにて公開する。以上の評価方法について協議いただきたい。</p>

議長	<p><質疑・意見> なし</p> <p>委員に諮り、一同、事務局案で承認。</p> <p>・制度の見直しについて 当日配布資料 協働事業提案制度における現状の課題について</p>
事務局	<p>現状の課題3点とその改善の方向性について、資料に基づき説明。推進委員の意見をいただきたい。いただいた意見の全てが制度に反映されるとは限らないが、庁内委員会等で協議していきたい。</p>
委員	<p><質疑・意見> ●課題1：事業の継続 採択協働事業で補助金終了とともに、事業を終了したのは何件あるのか。</p>
事務局	<p>制度を開始した平成27年度に採択した2事業のみが、補助金を終了している。これらの事業については市民活動団体において、事業を継続し、市の担当課において支援をしている。</p>
委員	<p>団体側で継続して実施することが可能な事業もあると思うが、市として支援することで、市民全体へ活動の広がりが生まれるため、補助金だけでなく、広報活動の支援など、複数年支援することに価値があると思う。</p> <p>また、今年度提案された野良猫の不妊手術事業などのように、継続的に補助金が必要なものもある。</p>
委員	<p>すわの森環境保全事業のような事業であると、継続した補助が必要だと思う。</p>
委員	<p>複数年補助金交付を決定した場合、単年度ごとの事業評価をどの段階で行うかが重要であり、検討すべきである。</p>
委員	<p>補助金継続にあたっては、公金を支出するため、評価は随時しなければならない。また、実施団体が求めている支援の内容が、補助金かそれ以外かについても協議すべきである。どの市民活動団体も後継者育成が課題となっているため、補助金を交付すればよいというわけではない。</p>
委員	<p>事業の継続ができることは必要だと思うが、市民活動団体に対し、どのような支援をしたらよいか、今後検討すべきである。</p>

委員	事業実施にあたり、市の担当課の業務以外の範囲について、他の課にも協力を求められる体制となっているのか。
事務局	市の担当課で、必要あれば調整している。
委員	この制度の趣旨は、事業のきっかけ作りか、団体育成なのか。提案書の収支予算書等では、事業実施に必要な金額のみの記載であるため、団体の本質的な課題等は把握できない。
事務局	複数年補助を検討している理由は、実施の成果を評価し、今後の協働事業に反映させ、市民活動団体と市との協働のあり方の検討へ結びつけていきたいことからである。
委員	●課題2：提案の募集期間 募集期間については、現状で十分だと思うが、募集の告知をより早くした方がよい。
委員	募集時期については、夏休みと重ならないよう、その前に行く方がよい。
委員	募集期間の変更に伴い、補助金交付の決定時期も変更があるのか。
事務局	決定時期に変更はない。
委員	●課題3：手続きの煩雑さ 行政提案型協働事業の選考にあたり、現状の公開プレゼンテーションを担当課によるヒアリングへの変更を検討されているが、審査の透明性に付与するという点から、公開プレゼンテーションは必要である。
委員	行政提案型協働事業選考にかかる公開プレゼンテーションは、広報の一機会としても実施した方がよい。
委員	●その他 提案者や協働事業の要件を、市内だけでなく2市1町へ広げてほしい。受益者が市民であればよいのではないか。
事務局	実施場所を2市1町にすることについては難しいと思われる。また、提案者の要件については、市内団体の育成という目的もあるため、検討としたい。
委員	要件を2市1町へ拡大し、募集期間を5月から7月までへの変更が可能となった場合には、提案募集の周知を文京学院大学や淑徳大学などの掲示版等で実

議長	<p>施してほしい。</p> <p>交わされた意見について事務局で再検討し、制度改善案をまとめ、推進委員会で報告してもらいたい。</p>
事務局	<p>(2) 報告事項</p> <p>①富士見市協働事業提案制度協働事業候補の選定結果報告</p> <p>平成29年度市民提案型協働事業プレゼンテーションで提案された4事業は、庁内委員会（平成29年11月20日開催）において全ての事業が協働事業候補に選定された。選定結果を市長へ報告し、平成30年1月19日付で提案者及び担当課へ通知した。</p>
事務局	<p>②審議会等設置状況調査報告</p> <p>資料7 審議会等の委員比率について（平成29年10月1日現在）</p> <p>資料に基づき説明。今後も、審議会等委員で公募委員や女性委員の選任に努めるよう、所管課へ働きかけていく。</p>
委員	<p><質疑・意見></p> <p>公募委員の比率は少ないのか。</p>
事務局	<p>審議内容により学識経験を求めていたり、個人情報を取り扱ったりするため、公募委員の選任をしていない審議会等も多い。新しく設置する審議会等では公募委員の定数を1割以上に努めるよう働きかけている。</p>
委員	<p>公募委員募集の広報に努めてほしい。</p>
委員	<p>指針において、幅広い年齢層からの選任についても求めているため、年齢層についても報告してほしい。50代までの現役世代のどれくらい選任されているのか確認したい。</p>
事務局	<p>4. その他</p> <p>①平成29年度実施事業の完了報告</p> <p>資料8 富士見市採択協働事業補助金実績報告書 「マタニティコンサート&産後ケア講座（仮）」</p> <p>資料9 富士見市採択協働事業補助金実績報告書 「スポーツ交流を通して、障がいについて知ろう」</p> <p>資料に基づき説明。「マタニティコンサート&産後ケア講座（仮）」への補助</p>

事務局	<p>金は超過交付となったため、採択者より返還していただいた。</p> <p>②会議日程について 次回は、平成30年4月開催予定。</p> <p>5. 閉 会</p>
-----	---